

Weekly Report



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度
国際ロータリーのテーマ
ロータリー：変化をもたらす
(ROTARY: MAKING A
DIFFERENCE)

2017～2018年度
名古屋瑞穂ロータリー
クラブ会長のテーマ
ロータリーの品格を高めよう!

創立：1980年(昭和55年)11月10日
会長：稲葉 徹
幹事：大嶽 達郎
クラブ広報委員長：鈴木 健司
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F

TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1797回例会

～会員増強・新クラブ結成推進月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2017年8月3日(木) 曇り 第5回

司会：鳥山政明会場委員
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ビジター：地区大会実行副委員長 名古屋大須RC 鬼頭茂成さん
地区大会実行委員会 名古屋大須RC 荒井美佳さん

会長挨拶

稲葉徹会長

皆さんこんにちは。今回は昨年1月より利用開始されましたマイナンバー制度についてとりあげたいと思います。

マイナンバー制度は社会保障・税・災害対策の分野において広く利用されることにより行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会の実現を目的とするものです。



マイナンバーとは、国民一人ひとりに12桁の番号をつける制度で、法人には13桁の番号がつけられています。これは、消えた年金問題が根底にありマイナンバーで管理すれば問題解決につながるの意見により、あまり深く議論されることなく法案が通ってしまったというのが私の印象です。

個人番号については、導入時は社会保障分野・税・災害分野などに利用範囲が限定されており、導入後3年後にも戸籍関係に拡大適用することを政府は検討しておりますが、これは煩雑な行政手続きをマイナンバー制度で改善しようとしている為です。結婚届、パスポート申請、遺産相続といった手続きの際に、戸籍謄本などが不要となるかもしれません。それでも戸籍には幅広い情報が含まれ、実現には厳密なる情報管理が必要と思われます。

ところでマイナンバー法では、個人情報保護法より厳しい安全措置がとられ、罰則も、例えばマイナンバー入りの名簿を不正に持ち出すと最長で懲役4年が科されるなど、より重くなっています。

最後に、マイナンバーと預金口座の関係はどうなっているかという点、一応は銀行界に義務を負わせない、任意適用の形で実施しようとしていますが、平成30年1月から預金口座へのマイナンバー付番が開始予定です。平成30年1月以後に新規預金口座を開設する者は、預金口座開設に当たって銀行からマイナンバーの登録を求められ、申請用紙等に記入することとなります。また、既存の預金口座分についても銀行来店後にマイナンバーの登録を求められることになりそうです。

「求められる」とあるのは、法律上の告知義務は課されないためであり、現状はマイナンバーを教えるかどうかは預金口座開設者の「任意」となっていますが、マイナンバー制度は今後、税務当局にとって個人の所得に対する税逃れ防止、相続税逃れの防止に役立つと見られています。

ニコボックス

中野健二ニコボックス委員

- 2017-18地区大会に皆様のご出席登録をよろしくお願い致します。
鬼頭 茂成さん 荒井 美佳さん
- 9/17に刈谷市総合文化センターで、モーツァルトの八短調ミサ曲を歌います。聴きにきて下さる方にはチケットを差し上げます。
平野 好道さん

- 中野君先日はお世話になりました。花井君今日はがんばって下さい。
湯澤 勇生さん
- 家内の誕生日にありがとう。
松井 善則さん
- 山田さん、素晴らしい音楽をありがとうございました。森 裕之さん
- 暑いですが、皆様お体に御自愛下さい。花井さん本日イニシエーションスピーチ、御苦労様です。
長谷川 隆さん
- 花井さんのイニシエーションスピーチ楽しみにしています。
湯澤 信雄さん 梅村 昌孝さん 田中 宏さん
鈴木 淑久さん 村上 学さん 中野 健二さん
- 本日イニシエーションスピーチ宜しくお願い致します。お手やわらかにお願いします。
花井芳太郎さん

出席報告

中野健二出席委員

会員64名 出席50名 (出席計算人数48名)

出席率 89.3% 7月27日は補填により 92.9%

幹事報告

大嶽達郎幹事

- 本日13:40より第2回理事会をヒルトン名古屋4F「梅の間」にて行います。
- 本日メールボックスに今年度のクラブ計画書、会員名簿、地区大会のリーフレットが入っています。

地区大会PR訪問

地区大会実行副委員長 名古屋大須RC: 鬼頭茂成さん
地区大会実行委員会 名古屋大須RC: 荒井佳さん

皆さんこんにちは。名古屋大須RCから地区大会のPRに参りました。2017-18年度のガバナーは、名古屋名駅RCの神野重行さんが務められます。その神野ガバナーの主催する地区大会のホストを、同じく西名古屋分区の名古屋大須RCがすることになりました。



先程会長から全員で行くという力強いお言葉を頂きましたので、ここで皆さんにお礼を申し上げます。これからのロータリー100年のために我々名古屋大須RCが準備をさせていただきます。また、大変素晴らしい講師をお願いしました。講師は、池上彰さんです。池上彰さんから皆さんにメッセージを頂いています。「11月19日にウェスティン名古屋キャッスルで皆様とお会いしてお話をさせて頂くことになりました。どうぞよろしく申し上げます」とのことです。今我々が一番心配しているのは、大変評判が良いので会場が溢れるのではないかということです。会場いっぱいにはイスを用意して、皆様に聞いていただけるような準備をしようと頑張っております。ぜひ皆様全員で来て頂きたいです。どうもありがとうございました。

8月誕生日おめでとう

鶴田 浩さん 村瀬 俊高さん 佐藤 善乙さん
永草 孝憲さん 森 裕之さん 山田 鎮浩さん
広瀬 弘幸さん

表彰

永草孝憲さん

ポールハリスフェロー表彰

…バッジ贈呈

米山功労者表彰

…表彰状贈呈



湯澤勇生さん

出席者表彰 5年100%出席

…バッジ贈呈



近藤茂弘さん

出席者表彰 10年100%出席

…バッジ贈呈



卓話

花井芳太郎さん

新会員イニシエーションスピーチ

皆さんこんにちは。本日はイニシエーションスピーチということで、お時間頂きました。花井と申します。よろしくお願ひ致します。

まず簡単な自己紹介をさせていただきます。名古屋市熱田区出身で昭和55年生まれ、現在37歳です。7年前に妻と結婚し小学2年生の長男と年少の長女、家族4人で暮らしております。現在(株)亀屋芳広の3代目として社長を務めております。名古屋瑞穂RCには昨年の11月に入会させて頂きました。同月のボジョレーヌーボ例会で、台湾からたくさんの方が来られ、たくさん美味しいワインを頂いたのを覚えています。それも、3月の台北延平RCの旅行では大変楽しむことが出来たし、勉強になりました。ありがとうございました。また毎月熱田神宮及び近くの圓通寺で開催している「あつた朔日市」で「あつた宮宿会」を結成しており、皆で熱田を盛り上げるという目的で活動しています。名古屋瑞穂RCそして25RCの社会奉仕委員会からも多大なご支援を頂いています。

自己紹介をもう少しさせていただきます。子ども時代は白鳥小学校・宮中学校に在学していました。白鳥小学校・宮中学校は、ここにいらっしゃる松波先生をはじめ、鈴木先輩や多くの活躍されている先輩を輩出した学校です。そして本日ゲストでお越しの名古屋大須RCの鬼頭さんもたまたま私の仕事での大切なお取引先で、多くのご縁で今があると改めて思っております。

熱田区の宮中学校には公立校では珍しく硬式のテニス部があり、名古屋市内の公立校の中で2校あるうちの1つに在籍していました。高校・大学もテニスに打ち込みました。高校は名古屋学院という、現在の名古屋高校へ進みました。高校卒業後は大学に行こうと思いましたが、当時は実家を継ぐのが嫌で、実家から離れて何か違うことをやりたいと思い、海外でバックパッカーをしました。約1年半放浪しており、この時はインターネットがなく一方的に手紙で居場所を連絡していましたが、あるとき母親が病気になり、それを後から聞いてもう遊んでいる場合じゃないということで日本に戻って実家で仕事をしました。しかしこのままいても仕方ないと思い一念発起して、もう少し英語を勉強したかったのでアメリカの大学に行き、5年間で大学を卒業して戻りました。このままずっとアメリカにいかうとも考えましたが、長年親のスネをかじり続けていたので帰らないといけないと思い卒業後すぐに名古屋に戻りました。その後和菓子屋で修行をするのですが、私の場合は埼玉県で4年間修行してきました。そこで改めて仕事の大変さなどを学んで名古屋に戻ってきました。そこで本日は、和菓子の話を少しさせていただきたいと思ひます。

和菓子という言葉は昔からあるわけではなく、和食、和装や和風といった

ような言葉と同じぐらいに出てきました。元々は「日本の菓子」や単に「菓子」と呼ばれていました。中国に点心料理がありますが、その点心料理の合間に出てくるものが和菓子の原型で、羊羹が原型です。羊羹は「羊の羹(羊のスープ)」と書くんですが、羊のスープそのものでそれを遣唐使が持ち帰ったのです。当時仏教国だった日本は、お肉が使えないので、小豆や小麦粉をお肉に見立て、スープは小豆の煮汁を使って炊いていました。それが羊羹の始まりとされています。そこから砂糖の解禁により今の形になっていきました。今のようなのはカステラやポーロといった南蛮菓子が出てきたときに確立されたと言われています。

名古屋は実はお菓子屋の数が一番多くて消費も一番多いです。尾張藩がお茶の文化を普及させたところからお菓子が繁栄したといわれています。名古屋で最初の和菓子屋は大阪から来た両口屋と駿河から来た桔梗屋(現在の美濃忠)ですが、その2軒が300数年前に来て以来、どんどん増えていきました。今では、名古屋のお菓子屋さんは250軒程ありますが、時代と共に少なくなってきたのが実情です。後継者不足や和菓子離れなどにより和菓子屋が減ってきていますが、復旧させようと色々な取り組みをしている最中です。

ところで、お盆になるとおはぎやお団子をご先祖様にお供えするといった文化が名古屋には根強くあります。実はおはぎは四季それぞれで呼び名が異なります。春はその名の通り「おはぎ」です。萩の花からお萩といいます。秋は何かというと「ぼたもち」で、由来は牡丹の花です。では夏は何かというと、「夜船」といいます。お餅と違っておはぎは餅米をついていないので、つき知らずと言ひます。つき知らずの言葉遊びで月知らず、そこから夜の船が連想されます。夜の船が港にいつ着いたのか分からない、そしておはぎはつく音が聞こえないということで「夜船」なのです。冬同じく月知らずで、月が見えないのは北窓だということから「北窓」といいます。また桜餅は東京や大阪だと食べ方や形が違います。名古屋だと米粒の桜餅ですが、関東ではクレープ上の桜餅を食べます。ちょうど今年は桜餅が出来て300年で、業界を挙げて盛り上がりました。五感を感じて食べるものが和菓子だと我々は話をするのですが、その意味はまず桜餅と聞くこと自体に春を感じていただけたらと思います。味覚として食べて頂くと桜の風味がしますし、あんこを感じ、そして見た目にも春を感じて頂けます。また桜餅の葉を取った時にその匂いがお米に移ったときの香りがします。よって人間の5つの感覚を満たしたものが和菓子だと話しています。

現在、社長として和菓子業界を盛り上げるために様々な場所で話をさせて頂いています。若い子はあんこを食べておらず生クリームで育った子たちが多いですが、少しでも和菓子の文化が続くよう一生懸命名古屋で商売をしたいと思っています。併せて月に1度熱田神宮と圓通寺で限定の「あつた宮餅」を作っております。これはきよめ餅総本家のお餅を使い、妙香園のほうじ茶を亀屋芳広があんこにして、最後にあつた蓬葉軒の特製のたれをかけて食べるというもので、大変人気です。ロータリークラブに入り、あつた宮宿会、そして朔日市で一生懸命活動していくことが1つの貢献だと思っています。鈴木先輩共々一生懸命頑張っていきますので今後ともご支援よろしくお願ひ致します。ありがとうございました。



例会のご案内

■今週の卓話

8月10日(木)

テ — マ : 地域と世界そして今と未来を繋ぐ地球とのフェアトレード

卓話者 : NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク代表理事 原田さとみさん

■次週

8月17日(木) R規定により休会

■次々週卓話

8月24日(木)

テ — マ : 共に生きる社会

卓話者 : スペシャルオリンピックス日本・愛知ボランティア委員長 八塚奈保子さん